

Show Rotary Cares  
ロータリーの心を

あなたの住むところ  
私たちの世界  
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme



第2560地区  
ガバナー——久保田 昭 治  
会 長——五十嵐 総 一  
会長エレクト——細 井 増 雄  
副 会 長——長谷川 有 美  
幹 事——佐 野 勝 栄  
副 幹 事——西 山 徳 厚  
S A A——山 浦 日出夫  
副 S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~  
例会場及び——三条市旭町2-5-10  
事 務 局——三条信用金庫本店内  
例 会 場——TEL 35-3311  
事 務 局——TEL 35-3477  
FAX 32-7095

本日出席会員数	79名中 49名
先々週出席率	87.67%

ヴィジター

三条北より 中條耕二さん

先週のメイクアップ

2/20 燕へ

山田富義さん、外山一郎さん、  
渡辺勝利さん

2/20 新潟東へ

渋谷健一さん

2/21 ローターアクトへ

佐野勝栄さん、佐藤吉平さん、  
宮尾栄一さん、丸山行彦さん

2/23 三条南へ

斎藤弘文さん、五十嵐昭一さん、  
五十嵐晋三さん、古沢富雄さん

2/24 三条北へ

林 光輝さん、丸山行彦さん、  
五十嵐晋三さん、松谷昊吉さん、  
菊池 涉さん、外山雅也さん、  
渡辺勝利さん、橋 直樹さん、  
高畑 昭さん



## 会長挨拶

### 五十嵐総一会長

北クラブから中條耕二さん、ようこそおいでいただきました。ありがとうございます。ごゆっくりしてください。

20世紀最後の第18回長野冬季オリンピックが終わりました。閉会式の模様を拝見しております、汗と涙の感動のすばらしい16日間、競技をしている選手には激しい競技だったかもしれませんが、中には友情の手をさしのべておられた選手、ああいう姿を見ていると本当に世界は一つだと、スポーツの中のことではございますが、そう感じました。

閉会式に「ふるさと」という歌を歌われましたが、それは「私達の故郷はこの地球」というテーマだそうでございます。本当に感動して見ておりました。

ロータリーも2月は世界理解月間ということでございます。ちょうどいいタイミングでオリンピックがあったのではないかと思います。そして2月23日がロータリー創立記念日となっております。理解と平和をとということで、2月を世界理解月間とされたようでございます。当クラブは、これにちなんで世界に関係することは何も行われませんが、遅まきながら3月に何かしらの計画をと、今プログラム委員と練っております。1ヶ月遅れになりますが、世界の理解ということ、私達は考えなくてはならないのではないかと思います。

ロータリーワールドニュースを拝見させていただいて、すでに国際R I会議が10月にロシアで開催されたことがでございました。ロシアとロータリーとは結びつかなかったわけですが、すでにロシアにはロータリークラブが35クラブあるそうでございます。

そして、その35クラブが活躍されているという記事が載っているのを読ませていただきました。まさしく手と手を広げて、東ヨーロッパでは150クラブができあがったそうで、だんだん本当の世界のロータリーというふうを感じ、それをいかに私達が理解をしていくか、ということではないでしょうか。

そしてその活動にどうやって手をさしのべていくか、そんなことを私は読みながら感じておりました。大きな宿題があるなあと感じました。

話は変わりますが、先週吉田パストガバナーによる地区分割の件についてお話がありました。早急に理事役員会を開催致しまして、当クラブも分割問題に対して、反対するのではなく、その主旨をよく理解して、流れがそういう流れであるので、それに賛同することに理事会で決定させていただきました。

その旨を吉田パストガバナーにご連絡申し上げておきました。

3月の国際大会にその主旨を伝達するということでございます。

## 幹事報告

### 佐野勝栄幹事

#### ◎例会変更のお知らせ!

- 三条南RC——3月30日(月)  
PM12:30~  
例会場変更 VIPに  
三条北RC——3月24日(火)  
職場例会 於 柄長  
加茂RC——3月26日(木) 夜例会  
「ワインの夕べ」  
見附RC——3月26日(木) 夜例会  
PM6:30~  
於 ホテルつるや  
分水RC——3月17日(火) 夜例会

## 3月のお祝い

#### ◎会員誕生祝

- 2日 日戸平太さん  
5日 三堀正純さん  
6日 小林英雄さん  
15日 岩井数央さん  
16日 小出子恵出さん  
24日 山浦日出夫さん  
27日 宮尾栄一さん

#### ◎夫人誕生祝

- 11日 渡辺洋子さん(喜彦)  
14日 渡辺ウメさん(弘栄)  
16日 熊倉恵子さん(昌平)  
21日 小林房子さん(九満太)

- 23日 加藤一代さん(紋次郎)  
26日 内山セツ子さん(辰策)  
26日 川又麻稚香さん(嘉瑞範)  
29日 野水富子さん(文治)

#### ◎結婚記念祝

- 16日 荻根沢隆雄

## ニコニコBOX



### 杉野奎司さん

階段のところの新井石龍さんの書を調べてみました。テーブルのコピー見て下さい。それから明治維新より130年テレビも大河ドラマをやっております。田島橋附近に戊辰戦没の碑を建てたいと思っております。御指導をお願いします。

### 渋谷正一さん

ひさしぶりの例会出席です、よろしく。都合で早退します。西山さんの卓話すみません。

### 古沢富雄さん

久しぶりのホームクラブ出席です。すみません。

### 西山徳厚さん

卓話をするのに眼鏡を忘れて来ました。佐藤会員から眼鏡を借りました。佐藤さん感謝します。



## 榎本 勝さん

2月23日、オリンピック自衛隊支援協力団の解散謝恩パーティーに長野市に行ってきた。晴天に恵まれ素晴らしいドライブ日和でした。

## 岡田正之さん

長野オリンピックの成功を祝して。

## 渋谷健一さん

特別減税で2月分の給料袋が18,000円重くなりましたので。

## 外山雅也さん

長野オリンピック競技には感動いたしました。

## 内山辰策さん

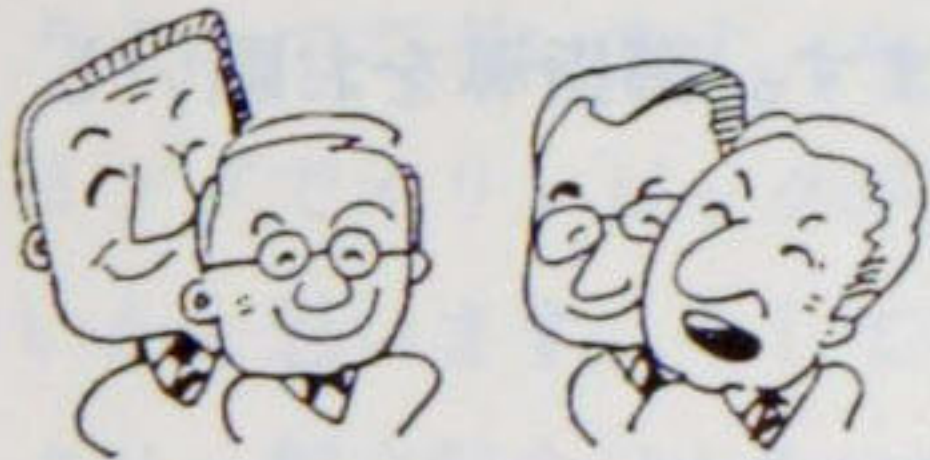
都合で早退させていただきます。

## 細井増雄さん

市役所の会議で早退になります。西山さんの卓話聞けなくて残念です。

2月25日分 ￥11,000

今年度累計 ￥637,000



## 卓 話

### 家相の話

西山徳厚会員



2月16日プログラム委員長の小越憲泰さんから卓話の依頼があり、卓話の受け手が無くて困っているんだと言われ、話下手な私ですが、やむなくお引受けする羽目になってしまいました。

家相など時代ずれした話題を選んだ訳は、話題に困って居る私に、家内が去年改築したら、家相が変わって災難が来たと冗談に笑われ、その話題も悪くないと、家相の話を諸先輩の前に厚かましくご披露させていただきます。かなり独断と偏見でやらせていただきますので、おゆるしを頂きたい次第であります。

まず家を造る前に、地面を用意しなければなりません。土地を下見するときは、「傘を差して行け」と言う言葉がありますが、ドシャ降りの雨の日など、土質、水捌けなどの欠点が出ますので、ベストだと言う事だそうです。また地名も「新田」とか「川」とか「池」など付く地名

がありますが、新しい時代に拓かれたり、埋立てられたりしていることが多いようです。新潟市の古町など古くから開けた町並は、1964年の新潟地震でもほとんど被害がなく、私も親戚が住んでおりますが、地下から水と砂が吹き上げたそうですが、地震の揺れが納まると共に、10厘ほど吹き上げて地上に貯った砂と水がどこに行ったのか又、水と共に地下に戻ったとしか考えようがないと不思議がっておりましたが、地震の被害は受けませんでした。

1982年長崎県の集中豪雨の折、鳴滝という地名の所で土砂崩れがありました。

その2年後、長野県の王滝村での山崩れも滝の字のつく土地の出来事でした。災害がこの様な地名の処で続いたのは、全くの偶然では無いと考えられます。

また古い地名を改称して、東京では自由ヶ丘は、昔、灰野良とさえない名前で呼ばれていたのを改称して、高級住宅地として売出して成功したり、谷地なのに希望ヶ丘などと呼び替えられて古い地名がわかり憎いものもあります。

やはり土地を求めるときは、知れる限り土地の歴史を調べたり、年寄の話などで、大水、大風、大雪の話を聞いたり、台風の通り路を知ったり、北風の吹き方など勉強しても無駄でないようです。私は雷の落ちやすい所に家を造って、落雷で被害を受けた事があります。今は近所に家が立て込みましたので、安心かなと受けとめておりますが。

土地の分譲地などでは、東南の角地が人気が高く、地価も高いと聞きますが、家を建てるのに、南側に開口部をとりたがりますが、採光面では有利ではありますが、家のなかをのぞかれる心配もありますね。

前置きが長くなりましたが、地相は西暦1000年前、中国の書経と言う書物なかに「成王、洛陽に宅を占しウヌン」という意味の記録があるそうですが、その時代の墓地の吉凶を占う「風水」の考え方と宅相が一緒になって、地相という学問になったそうです。

この洛陽という都は、黄河の支流洛水のほとりにあり、中国で一番古い都で日本の魏志倭人伝の卑弥呼にまつわる王城のあった処です。

その頃の中国の中心は「中原」と呼ばれ、「三軍を師いて中原を定めん」と中原を征する事は、中国全土を支配することを意味する重要な地域で、世界の四大文明の一つ黄河文明は、ここに開け文字も発明されました。歴史に名高い「夏」「商」「周」三国が争った所で、色々の歴史があります。水滸伝はあまりにも有名ですが、その舞台である「梁山泊」もこの附近にあり、1119年に反乱した108人の英雄豪傑の物語りで、頭領の宗江、参謀の神棧、入れ墨の題にとられる。九紋龍の史進、黒旋風の季達など血沸き肉踊る、人間描写に勝れた小説であります。

話を地相に戻しますと、その中原の地



形が「四神相応の地とあり」

東に青龍の流あり

南に朱雀の広野あり

西に白虎の大道あり

北に玄武の山の守あり

と古代中国の陰陽五行説などが「周易」などで理論体系づけられたものだそうです。

この中原の周囲は、<sup>あずまへびす</sup>東夷、<sup>みなみの蛮人</sup>南蛮、<sup>せいじょう</sup>西成、<sup>てき</sup>北狄とに多くの敵に囲まれた地形で、しかも北から侵されることが多く秦の始皇帝が万里の長城を築き、又今世紀に入ってからも日本軍が満州から攻め込んだので、今でも中国では鬼門として北<sup>へん</sup>辺を恐れる人が多いそうです。

その四神相応の都として、長安の都が置かれそれを模範として日本の京に平安京が鴨川の流れを人工的に変えて四神相応の都市として建設されたそうです。

この立地条件を、日本列島にあてはめると、東京を初め太平洋側に面した南側は、だいたい四神相応の地になっておりますが、日本海側では山脈の北側にありますので、成立し難いのであります。

しかし中国も広く山脈の具合で、日本海側と同じように、山脈の北側の土地もあり、その土地その土地の地相や家相も異なるであろうと推測されます。

それに較べ、日本の地勢は大陸性気候の中国と異なり、南北に長く、南は沖縄から北海道まで及んで変化も一様でなく、春夏秋冬と四季は順序よく訪れ、季節のメリハリがあり、しみじみと季節感が味

わえます。そうした日本に和歌とか俳句とか、茶とか生花など日本独特の芸術文化などが生まれ育ちました。こうして四季ともごもに訪れる、自然現象はその土地その土地によって、大いに相違しまして、北国も南国も東国や西国もいずれも同様な地形、家造りとはいかない訳であります。

科学の発達により、生活機器が日進月歩良くなり、日毎に素晴らしい建材機器が続々と登場してまいりました。

ユニットバスなら、給水排水排気の発達で二階にも設備でき、トイレも配管修理を考慮すれば、どこでも設置できます。断熱材も進歩しました。もっとも、わざわざ居住環境の良い南側や東側にトイレや風呂場を造り、場所をふさぐ必要もありませんが、北側へトイレを持っていったら、ヒーター等の設備をすれば寒い便所で、ふるえたり中風を出したりせんでもいいかと思えます。

家相は日本家屋の2000年からの歴史、風俗習慣に家相学を応用して得られた、経験的知識の集約であり純洋風建築には適しないようであります。

私の聞き識った話ですが、ある若い大工さんが、借り家住まいでしたので、家を持ちたいと念願して、仕事から帰って来ては柱を一本二本と刻み休みの日も稼いで、骨組を作り仕上にかかったら親戚の人が見て便所の位置が玄関の突き当りにあったのを家相が悪いと言い、大工さんが気にして木組をくずしてやり直しを

して迷惑して恨んで居ました。たしかに玄関の突き当りの便所は余り良いものではありませんが、工夫はあるはずです。

土地の位置、広さによって間取りがほぼ決まることもありますので、他家へ行って土地の形、家相などうっかり言えないものだと感じました。

要は、住もうという事は、その環境にいかにか適合するかという工夫で、まず家屋は東西に長くして陽当りを良くしたいものです。反対に南北に長ければ、一年中光線の当たらない部屋が多く出来ます。立体的には北を高く南を低くすると明るく暖かい居心地の良い家になります。

また地相は家相と離して考えるべきでなく、両者合体して考えるべきですから地相の立場から考えて凶相であっても、そこに建つ家が吉相であれば、吉凶相和して地相から来る凶運を防げるそうです。家を造るに心掛ける条件が5つ程書かれてありまして、

#### ① 日当り

西南の太陽は夏は暑すぎますので、東南の太陽を取入れるようにする。

#### ② 風通し

風通しは家の新陳代謝を良くし腐敗を防いでくれますが、過ぎたるは及ばざるがごとしで、中庸を好しとし、どの方向から風を入れるか、風の通りを考えて窓を取りたいものです。

#### ③ 寒暖調和する

家は服と同じで、一年を通じて冬服、夏服、合着と変化出来るようなものが望

ましく、冷暖房をむやみに効かせるのは体に悪くコストもかかります。

#### ④ 実用的事と自然との調和

家はまず天地の恩恵を受けるに都合が良いという点から考えて行くことが必要だそうで、目先の実用一点張りでは近視眼的で良くなく、使い良く天地自然の恩恵を合理的に生かすことが大切だそうです。

#### ⑤ 美観

私共はとかく美観とぜいたくを混同しがちであります。必要以上のぜいたくは必要ないが、美観は欠かせない条件であります。人間は精神的な動物であり、体や英気は美観によって養われることが多い。

次は方位について

家相方位吉凶24山図ですが、まず井戸は現在ほとんど使用されておきませんが、図の表鬼門は、年の始めと終りを表し運命の岐路となっていますので、家相上非常に大切な地点だそうです。従って鬼門と呼び物を造るのを忌みます。

一方裏鬼門は邪鬼の通路とされ、これも物を設けるのを凶とするそうです。またこの表鬼門と裏鬼門、裏鬼門は病門とも呼びますが、これを結んだ線を凶線と呼び、この線上に玄関便所などを造れば災危甚大とされています。

次にそれと90度に交差する線を吉線と呼び、太陽が東に昇って南を廻りますので、午前の光線は陽気甚だ盛んで、植物、動物人体にも良いとされ、午後の太陽は



夏は暑すぎますので、東南の方位を大吉とし、午後の西北は吉とします。

しかし東西南北の方位は何であるかといえ、たとえば東に向かって東へ東へと進んで行けば、やがて地球は丸いので私たちが西と考えている地方へ帰って来るのは当然でありまして、南北についてもこのことが言えます。従って東西南北は対角があつての名称であり、確定的なものではありません。すなわち相対的なものです。こう考えてくれば、太陽が東から昇り、西に沈むという法則も地球全土に亘って当てはまるものではなく、かりに自分が南極とか、北極に立ったとすれば、ただ南とか北とかの二方向があるだけで西も東もない訳です。従って方位方向というものは、あくまでも相対的なものであり、仮定的なものであることを忘れてはならないのであります。

さて方位は、地相家相では24方向に分かれておりまして、この方位の見方は西洋にもあるようで、「アスペクト」と西洋ではいうようですが、これは光線の当たり具合とか衛生の関係から割り出されたものだそうで、現代の建築でも種々参考になる点があるそうです。

家の造りに「張り」とか「<sup>かけ</sup>欠」とか、「出入口」とか間取とか、種々の吉凶があるのですが、一般論のみを述べさせて頂きます。木造建築の床の高さに、昔の言葉で「人の住まいの床は高さを吉とす1尺4.5寸が宜敷」とあるそうですが、その1尺4.5寸は今の建築基準法の45種

と一致します。床下を乾燥させて置くために5.6種ほど土盛をし砂を敷いたり、コンクリートを打設するのが良いようです。

私の家も13年前に建築するとき、床下を全面コンクリートを打ちました、昨年増改築をやりまして、床板をはぐった時点検して見たら、完全に乾燥しており白蟻とか「くされ」の心配は全くありません。布基礎の沈降もほとんどありませんでした。

又雪国の建築法は積雪があるときに地震があつたらと考えるので、柱や帯木類も太く、無雪地帯と比べれば建築費も嵩み、冬の屋内に居る時間が長いものですから建築面積が比較的大きく、居間の居心地を良くした居間集約型が多くなりやすいそうです。間取りでは丁度寒風に背を向けて体をくの字にまるめたように家を造ると、南部地方の曲屋が出来上がる訳です。

最近多くなり、神戸の大震災以後増えた2×4工法は地震に強いですが、積雪時に横から押されると弱い欠点があります。豪雪地の北米ニューイングランド地方では家のコーナ部に2×4より大きい4×6を使用すべしという建築法規が規定されているそうです。

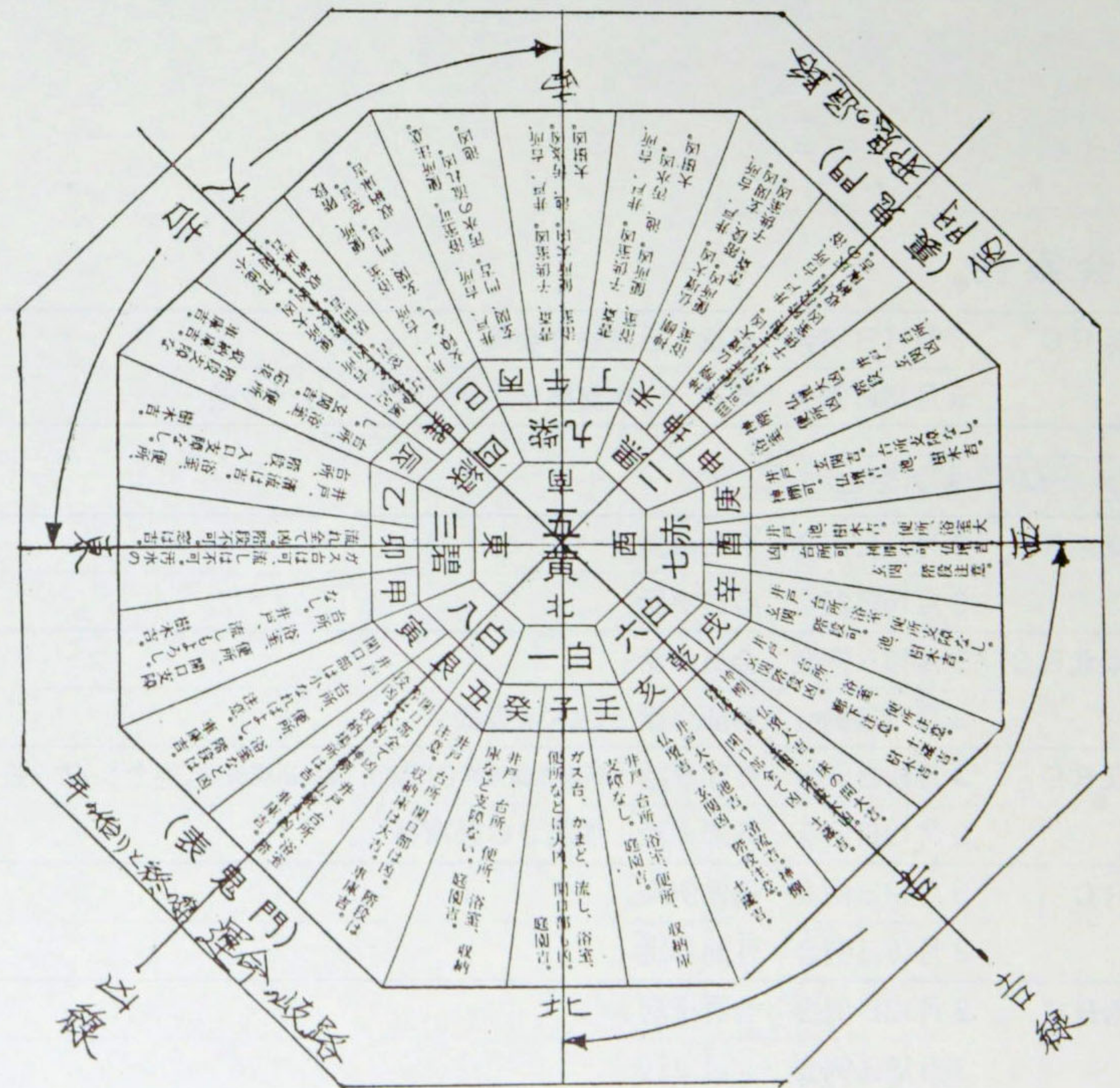
明治の北海道開拓時代、「屯田兵」の兵舎が2×4工法で建築された記録があるそうですが、この歴史的な建築は現在1戸も残っていないそうです。北海道大学の町博士の説によれば、兵舎は積雪

で倒壊したと言う事だそうです。又家相にあてはめて考えると身動きできなくなると言われていますが、西に廁があれば女房が不義密通、女の子は不器量で縁遠いが淫乱、北に廁があれば財を失う、母親は偏屈で親類縁者ともに失う。こういう風に家相に関する本は昔数十種類も刊行されたそうですが、それぞれの時代に想像できる限りの悪しき事、悲惨な事、例を上げつらつてあるそうですが、家相

の本を売るためみたいな気もいたします。

なぜ北や西に便所を造ると悪いのか、北に造れば一年中陽も当たらない寒い場所です又不衛生でかつ健康に悪い、西陽の当たる処に造れば夏に蒸風呂のような便所になってしまうなど、迷信と結びついた禍々しさと難解さを除いて行けば、今なお通用する建築上の真理も多々あるようです。ただ冷暖房や給水、排水、通気の技術が進んだことによって、かつての、

### 家相方位吉凶図 (二十四山図)





戒も解決されつつあるようです。

吉田兼好法師が徒々草に残した言葉があるそうです。

家の造りようは、夏をむねとすべし、冬はいかなる所にも住まる。

これは南北に長い日本列島のうち北緯35度の京都を中心としたごく狭い範囲の事と考えられるようです。

今一つ「すべて何も皆、ことの<sup>とと</sup>劉のほ

りたるは悪きことなり仕残したるを<sup>さて</sup>扱打置きたるは面白く、生き延ぶ業なり内裏造らるるにも必ず作り果てぬ所を残すなり」と物事が完備して居るのは良くない。為<sup>し</sup>残したところが、あるほうが面白い、人生すべからく満ち足りない私などが幸せなのかと感じました。

話を終ります。

## 例会案内

---

三条RC	3月11日例会	卓話	近藤雄介会員
	3月18日例会	卓話	一年交換学生ネーザン・リベラ君

---

### メイクアップをどうぞ

---

三条南RC	3月9日例会	会員卓話	
	3月16日例会	会員卓話	
三条北RC	3月10日例会	会員卓話	
	3月17日例会	外部卓話	鈴木宗資様
加茂RC	3月12日例会	外部卓話	新潟県農業総合研究所 食品研究所 若林センター長
	3月19日例会	外部卓話	加茂JC理事長
燕RC	3月12日例会	通常例会	
	3月19日例会	外部卓話	
見附RC	3月12日例会	会員卓話	
	3月19日例会	会員卓話	

---